

## 市の素案に対する分科会意見 (共生・地域づくり分科会)

項目		意見内容
素案全体について		素案の各所に「共生」の視点をよりきめ細かに取り入れるべき
		市民の主体的なまちづくり活動を、個別施策ごとに支援するのではなく各分野にわたって総合的に支援するという視点が必要である
各重点戦略課題について	魅力あふれる地域づくりの推進	地域づくりの担い手としては大学も重要な存在であり、各主体の主な役割の中に「大学」を入れるべき
	少子化対策の推進	調査結果などでは、子どもを産まない理由として「経済的負担が重い」ということが大きなウエートを占めており、「現状と課題」の中にそうした視点を加えた方が良い
		子育て支援が必要な家庭は、共働きの家庭、障がいのある子どもを持つ家庭、母子家庭、父子家庭など多様である。あらゆる家庭を支援していくというメッセージが伝わるよう表現を工夫すべき
		子育てに役立つ情報が出来るだけ多くの子育て家庭に届くように、「子育て関連情報の広報・周知」を盛り込むべき
		現状と課題に「若い世代(特に思春期)の健全な母性・父性の育成」とあるが、男女共同参画の観点から、「母性・父性」という性別による固定的な役割分担の意識につながる表現については再考すべき
	障がいのある子どもを持つ親の就労支援の観点から、「障がいのある子どもの保育所への受入、学童保育の充実」を施策に盛り込むべき	
地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進	施策の基本方針に「心のバリアフリーが広がるように努める」とあるが、それにつながる具体的な施策が見えるような形にすべき	
地域での健康づくりの推進		
成果指標について		「子育てをしやすいまちだと思ふ人の割合」は、障がいのある子どもがいる家庭とそうでない家庭ではかなり違いがあるため、きめ細かく見る必要がある
		障がい者の自立支援の促進という観点から、「障がいのある人が地域で暮らせると感じられる割合」を指標項目とすることはできないか